

セブンイレブンの避難誘導灯

セブンイレブンが導入する蓄光式ステッカーは、蓄光素材のエルティアイ(京都市)が開発し、愛光電気(神奈川県小田原市)が販売を手がける製品。厚さ0.7mmの板状の正方形で、一辺15cmと20cmの2種類がある。店内の蛍光灯などの光を吸収して発光する。セブンイレブンは今月から順次導入を始め、将来は全店に広げる方針だ。

蓄光式ステッカーの利点は発光時間が半日以上と長いこと。暗闇のなかでも近くに寄れば、腕時計や足元を判別できる明

発光長く電力消費せず

蓄光式誘導標識は従来の電気式誘導標識に比べて、発光時間が長いという電力を消費しない。年内に全店の約6割にあたる8千店に導入する。同ステッカーは消防法施行規則の改正に伴い消防庁が昨春に運用指針を示したことで可能になった。大手コンビニエンスストアの本格導入は初めて。



蓄光式ステッカーを使った避難誘導標識

と約20分で電池が切れる課題があった。蓄光式ステッカーは設置コストも安い。1個当たり1万5千円程度

蓄光ステッカーに転換

セブンイレブン・ジャパンは店内の避難誘導標識を電気を使わない蓄光式ステッカーに切り替える。電池で点灯する従来方式に比べ発光時間が長いという電力を消費しない。年内に全店の約6割にあたる8千店に導入する。同ステッカーは消防法施行規則の改正に伴い消防庁が昨春に運用指針を示したことで可能になった。大手コンビニエンスストアの本格導入は初めて。

度と、取り付け工事が必要な電気式誘導灯の約3分の1に抑えられるという。電気式誘導灯で使用している電池の交換も不要になる。

また電気を消費しない素(CO₂)を排出して、省エネにもつながる。セブンイレブンの試算によると、従来の電気式誘導灯は1台当たり年間約100万キロワット時節約できるとい



日経流通新聞

1月10日(月曜日) 月/水/金 発行

発行所 日本経済新聞社
 東京本社 〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7
 電話(代表) (03) 3270-0251
 大阪本社 〒540-8588 大阪市中央区大手前1-1-1
 電話(代表) (06) 6943-7111
 日本経済新聞電子版 <http://www.nikkei.com/>
 NIKKEI MJサイト <http://www.nikkei.co.jp/mj/>
 MJメールマガジン <http://www.nikkei4946.com/e-service/>
 購読の申し込み先 ☎0120-21-4946
<http://www.nikkei4946.com>



蓄光式誘導標識 セブンイレブン・ジャパン

導入するのは、標識開発会社「エルティアイ」(京都市右京区)、「愛光電気」(神奈川県小田原市)が開発、販売するステッカー型の蓄光式誘導標識(15cm四方、厚さ1mm以下)の写真。普段は蛍光灯など店内の光を吸収し、停電、照明の故障で暗くなると発光する。09年の消防法改正で、一定の基準を満たした製品が電気式の代替品として認められるようになったことから採用を決めた。

今月から切り替えを始め、11年までに全国約1万3000店のうち約8000店への導入を目指す。24時間営業のコンビニエンスストアは照明の使用時間が長いことから、セブンイレブンは店舗の照明にLED電球を採用するなど、省エネを進めている。

【井出晋平】

セブンイレブン・ジャパンは今年から、店舗の非常時の誘導標識を電気式から蓄光式のステッカーに順次切り替える。電気を使わないため、1台切り替えると年間約82キロワットの二酸化炭素(CO₂)削減を見込めるという。



1月24日(月)

2011年(平成23年)

発行所: 東京都千代田区一ツ橋1-1-1
 〒100-0051 電話(03) 3212-0321
 毎日新聞東京本社

避難誘導に光るステッカー

暗闇で蓄光素材が光る避難誘導ステッカーを、京都のベンチャー企業「エルティアイ」(右京区)が開発した。電気を使わないためコストを抑えられ、二酸化炭素(CO₂)の排出削減にもつながることから、コンビニエンスストアなどで導入が広がっている。

同社は2001年創業の発光素材メーカー。09年の消防法改正に伴い、避難誘導灯の代替品として蓄光式の誘導標識が使えるようになったことを受けて、蓄光素材を使った製品を開発した。

ステッカーは厚さ0.75mm。蛍光灯などの光を吸収し、暗闇の中で6~8時間ほど発光し続ける。価格は12cm四方が7800円、20cm四方が1万5300円。コストは従来の電気式誘導灯の半分以下に抑えられる。壁に貼るだけだから設置も簡

単だ。また、電気代を節約でき、CO₂の排出削減にもつながる。日本フランチャイズチェーン協会(東京)の試算によると、国内のコンビニエンスストア約4万2千店が蓄光式の誘導標識に切り替えた場合、年間3205トンのCO₂削減効果があるという。すでにコンビニ大手のセブンイレブンが1月から新店舗で順次導入し、牛丼チェーン「すき家」の店舗でも導入が始まっている。



エルティアイが開発した避難誘導ステッカー—同社提供

(堀田浩一)